

気になる！ 建設ディレクターとは



建設業の長時間労働の是正や多様な働き方の実現に向けた取り組みの一つとして注目されているのが『建設ディレクター』です。『建設ディレクター』とはバックオフィスから建設現場を支援する新しい職種で、書類作成やICTデータの管理などの業務を担当し、建設技術者の事務作業を軽減することで現場での作業に専念できる環境を整える役割を担っています。『建設ディレクター』により業務の効率化・現場の離職率の低下・女性の活躍など多くのメリットが報告されています。今回の特集では現在『建設ディレクター』として活躍されている方々の仕事内容や現況を報告させていただきます。

シオ ダ テル 塩田 暉さん

Tanigurogumi 株式会社 谷黒組 [土木部]

◆入社年度/2020年度 ◆資格取得日/2023年6月15日



打ち合わせ

—今現在されている建設ディレクターの仕事内容を具体的に教えてください。

舗装工事において3次元起工測量を担当し、現況測量を行ったうえで設計データを作成し、計画図の作成までを行っています。そのほか、工事写真の整理や各種書類作成、データ管理なども行い、現場と連携しながら施工が円滑に進むようサポートしています。

—残業はありますか。(ある場合その状況も教えてください)

工事の進捗状況や提出期限が重なる時期には業務時間が延びることもありますが、業務の効率化を意識しながら取り組んでいます。

—建設ディレクターの資格を取った経緯を教えてください。(なぜ資格を取ろうと思ったのか)

会社に勧められたことをきっかけに、現場を支える立場として専門知識を身につけたいと思い、建設ディレクターの資格を取得しました。施工管理への

理解を深め、より円滑にサポートできるようになりたいと考えました。

—仕事をする中で感じるやりがい、反対に苦勞を感じているのはどのようなことですか。

測量や図面作成など自分が関わったデータが現場で形になり、工事が進んでいくのを見るとやりがいを感じます。現場の方から頼られたときも嬉しく思います。

現場状況の変化に合わせてデータや書類を修正する場面が多く、正確さとスピードの両立に苦勞します。専門用語や工事内容を理解するまでにも努力が必要だと感じています。

—今後の夢や目標を教えてください。

現場と事務の橋渡し役として信頼される建設ディレクターになることが目標です。ICTや3次元データの活用を進め、現場の負担を減らし、より働きやすい環境づくりに貢献していきたいと考えています。



事務作業